

2020. 7. 8

畑 啓之

技術士一次試験の適性科目は難しくない 倫理観を持って常識的な判断ができるように

6月18日に書き上げた「技術士一次試験 基礎科目問題を極める」の次の書として、「技術士一次試験 適性科目を極める」を書こうと、この2日間、過去問題を実際に解いてみた。(平成16年度～令和元年度再試験、15問×17回=155問)

その結果、得られたことは、個々の問題を解くことも大切であるが、日本技術士会が、すなわち日本国が、技術士に期待していることを理解できていればよいということであった。

過去問の分類表はまだ作成途中ではあるが、おおむね以下のようなものである。受験生が各自でこの分類表を作成し、分野を順番に征服していけば、自然と合格に至る。

従って、書籍「技術士一次試験 基礎科目問題を極める」とは違って、書籍「技術士一次試験 適性科目問題を極める」の作成は必要ないとの結論に至った。過去問をあたり、技術士に必要とされる倫理観を中心に身に付ければ、この科目は必ず合格する。

技術士第一次試験【適性科目】試験問題の分類

年度	R01再	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	
II-1	適性試験	技術士法	技術士法	技術士法	技術士法	技術士法	技術士法	技術士法	技術士法	技術士法	技術士法	適性試験	技術士法	技術士	技術者倫理			
II-2	技術士法	技術士	技術士法	技術士法	技術士	技術士	科学者倫理	技術者倫理	技術者倫理	科学者倫理		技術士法	技術士	技術士法			技術者倫理	
II-3	企業倫理	PL法	技術士		技術者倫理	技術士	研究不正		ハラスメント			技術士法	公衆	技術士	技術士法	技術者倫理		
II-4	技術者倫理	個人情報保護法	技術者倫理	ハラスメント	研究不正	技術者倫理	個人情報保護法		個人情報保護法	技術士	技術者倫理		研究不正		公益通報	技術者倫理	公益通報	
II-5	公益通報	知的財産権	技術者倫理		企業倫理	技術者倫理	ハラスメント			リスク	技術者倫理	技術者倫理	技術士	技術者倫理	リスク		公益通報	
II-6	科学者倫理		知的財産権		公衆	技術者倫理	公衆			リスク	技術者倫理	公衆						
II-7	PL法	企業倫理		技術者倫理	PL法	研究不正	PL法	PL法	PL法	個人情報保護法	知的財産権		技術士	技術者倫理	公衆		技術士	
II-8	知的財産権		公益通報	PL法		研究不正			公益通報	PL法	公益通報	PL法	企業倫理	公衆		技術者倫理	技術者倫理	
II-9	知的財産権		PL法		技術者倫理	公益通報			知的財産権	知的財産権	個人情報保護法	公益通報	公益通報	技術士法	技術士		ハインリッヒの法則	
II-10	研究不正			知的財産権	公益通報					リスク	PL法		PL法				技術者倫理	
II-11		リスク			知的財産権					リスク	ハラスメント						公益通報	PL法
II-12	リスク			リスク	技術者倫理	知的財産権					研究不正				ハインリッヒの法則	個人情報保護法		PL法
II-13								知的財産権		リスク	リスク	リスク	技術者倫理		技術士	公益通報		
II-14				研究不正			知的財産権				技術者倫理			技術者倫理			PL法	
II-15							リスク		研究不正			技術者倫理	公益通報					